



◆ ◆ ◆ ◆ ◆

●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。
●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

初めての全国植樹祭行幸啓

「三河青い鳥」ご視察

東区 羽田野為夫

六月二日天皇皇后両陛下が、初めての四人行幸啓の一つ全国植樹祭に愛知県を
ご訪問され、当愛知県三河青い鳥医療療育センターをご視察された。大村愛知県知事に宮内庁長官・警察庁

「生ですか」とお声掛けされ、そのうちの一人は事前に皇后さまへ手紙を書いてあって「お手紙ありがとうございました。とても嬉しかったですよ」と返されていた。講堂では重心の車いすダンスでも、演技者全員にお声掛けされていた。

ご奉送の際、玄関前にずらりと並んだ車いすの重心児者にも、お二人は会話を途中で遮ることなく、一人一人、交互にお声をお掛け

なられた。この二時間半のご滞在の準備に、四力月前から県庁・県警・警察庁・宮内庁等々いろんな部署が現地調査・指導に入り、警備の設備をいれ、アンテナを立て、催事内容を決め、特別奉送迎者名簿を作り、代役をたてて最終リハーサル、越知センター長の説明原稿にまで朱を入れた。以前秋篠宮妃の小児病棟訪問を受けた経験からは、とても大変な違いで想像をはるかに超えていた。

両陛下ご訪問が公式発表されてからは職員の間でも期待に満ちてよく話題にされ、ご訪問後も、「天皇様が来訪されるセンターなのだ」と職員意識がとて高揚していた。また入所者の保護者の間でも、言葉をかけていただいたと得意げに話す人もいた。上皇に続き今上天皇もあくまでも象徴として、国民に寄り添っていかうという姿勢が表れていたとも思われ、また皇后さまが輝いて見えたことにも皆が安堵したように思われた。願わくは、今上天皇にも、安倍首相の「日本を、取り戻す」に与せず、戦犯合祀の靖国神社に参らず、平和を希求しつつ国民に寄り添っていただけるとを期待するばかりである。